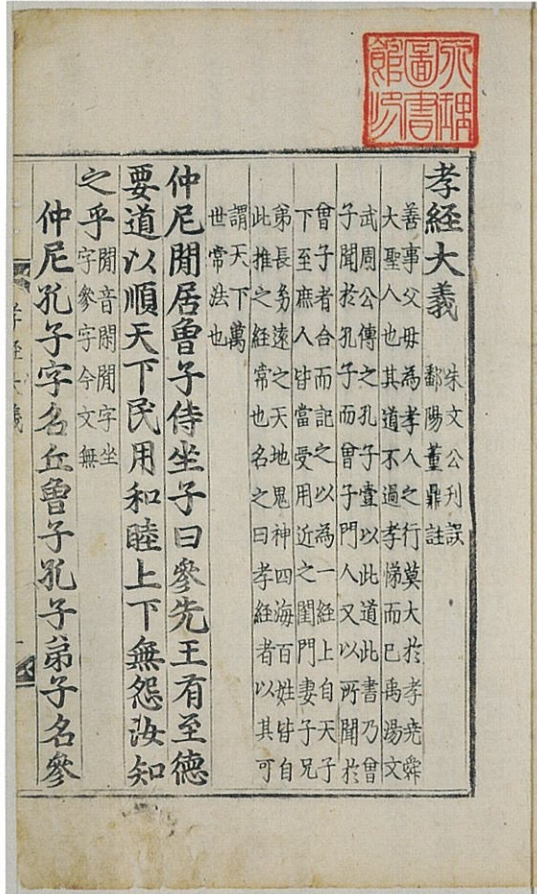


やまとの名品 天理図書館



こう きょう たい ぎ  
孝 經 大 義

(宋) 朱熹刊誤；(宋) 董鼎註

庚午字体訓鍊都監字版

1 卷 1 冊 朝鮮17世紀刊

縦32.0cm 横21.0cm

『孝経大義』は朱子学創始者朱熹(一一三〇〜一二〇〇)が『孝経』に注釈を付けた書。『孝経』は孔子が曾子に孝道を説く体で書かれた儒教經典の一つである。

掲出本は朝鮮で一六〇〇年代に「庚午字体訓練都監字」という木活字で印刷された書物である。訓練都監は豊臣秀吉の朝鮮出兵を機に設置された兵卒たちの軍事訓練機関である。しかし、運営資金に乏しく軍資金調達のために様々な書籍の出版印刷事業も行った。本書の活字の元になる庚午字は、一四五〇年に安平大君(一四一八〜一四五三)の文字を鑄造した銅活字。

安平大君はハングルを作った世宗の第三王子で朝鮮初期の書芸家でもある。書画や詩文に通じ画家の安堅

や詩人の朴彭年などと親交が深かった。韓流ドラマ『不滅の恋人(原題・大君〜愛を描く)』のモデルとなった人物である。世宗没後、王位継承をめぐり兄の首陽大君と争った結果、賜死を受け生涯を閉じる。死後、家族は処刑され、財産も没収される。そして、安平大君を偲ぶ書籍や墨蹟等は始末され現存は非常に稀である。

朝鮮古活字の一つである庚午



字銅活字は、その使用年数は六  
年程と非常に短く、また安平大  
君の死後には別の銅活字鑄造を  
理由に材料として溶かされてしま  
う。

現存が稀な安平大君の松雪体  
の書体は、本館においては『夢  
遊桃源図』跋文と共に、庚午字  
体訓練都監字印本『孝経大義』  
などに伝存する。安平大君の息  
遣いを知る数少ない逸品である。

(天理図書館 南田 尚紀)

天理図書館のお知らせ Tel: 0743-63-9200 <https://www.tcl.gr.jp/>

◆平日(午前9時〜午後5時半) 土・日・祝(午前9時〜午後4時半)

○2月の休館日:12日〜21日・23日・28日

(本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)